

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	2002	(H.24)No.	2002
-----------	------	-----------	------

事務事業名	緊急通報システム事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	高齢・障害支援室	高齢者福祉担当 生坂康治	

会計区分	事業コード	142001
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 民生費	緊急通報システム事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	緊急通報システム事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
在宅の一人暮らし高齢者等について、急病、災害等の発生の緊急時の連絡・援助体制を確立することにより、日常生活上の不安の解消を図り、福祉の向上を図る。
事業内容
高齢者に、緊急時に簡単な操作により電話回線を利用して外部に通報できる機器を貸与する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	機器管理委託料 531千円 事業委託料 211千円 H24.4.1:現在 登録人数210名	機器管理委託料 644千円 事業委託料 190千円 NTT機器使用料等 109千円 H25.4.1:現在 登録人数 177名	機器管理委託料 644千円 事業委託料 190千円 NTT機器使用料 109千円	機器管理委託料 644千円 事業委託料 190千円 NTT機器使用料 109千円	機器管理委託料 644千円 事業委託料 190千円 NTT機器使用料 109千円

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	742千円	943千円	943千円	943千円	943千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 742	943	943	943	943
人工数					
職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
臨時職員等	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
概算人件費	(0千円) 607千円	607千円	607千円	607千円	607千円
+ 総事業費	(0千円) 1,349千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として順調に目標を達成できているが、協力員の役割が重くサービス継続が困難な点もある。	引き続き、事業の啓発に努め、対象者に対し適切なサービスに努めるが、事業自体を業者に委託する等の方策を考えていく。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	在宅の一人暮らし高齢者等の保健福祉サービス充実の一躍を担っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
事業自体を業者に委託する等の方策を考えていく。	